

現場説明書（技術的事項）

委託名 （仮称）福山市立大学複合施設新築工事に伴う地質調査委託

1. 委託場所の状況

- ・調査場所は、福山市立大学の管理地です。
- ・委託期間中は、敷地内の利用はありません。

2. 留意事項

- ①7月上旬までに地質調査を実施し、その調査結果を報告してください。
- ②調査にあたっては、監督員と協議のうえ、必要な安全対策を講じてください。
- ③作業範囲や工程については、監督員と十分協議調整してください。
- ④契約後は速やかに業務計画等を提出し、監督員の承諾を受けてください。

3. 別途業務

- ・（仮称）福山市立大学複合施設新築工事設計委託

4. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めること。
 - (1) 「3つの密を避けるための手引き」の活用
各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示を行う。
・ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin
 - (2) 「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用
各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知を図る。
・ http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf
※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。
例) 「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等
- 2 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出する。
なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。
- 3 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出する。
- 4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 5 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

< 共通仮設費 >

○労働者宿舎での密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも、その後の積算における現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とする。

< 現場管理費（業務においては直接経費） >

○現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも、その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とする。

このほかにも、感染拡大防止のために必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

福山市地質調査委託特記仕様書

I. 委託概要

1. 委託名称 (仮称) 福山市立大学複合施設新築工事に伴う地質調査委託
2. 委託場所 福山市東川口町一丁目地内
3. 委託内容(○を適用する)

<ul style="list-style-type: none"> ○ ボーリング <ul style="list-style-type: none"> ・ 水位測定 ○ サウンディング <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準貫入試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ スウェーデン式貫入試験 ・ 動的円錐貫入試験 ○ 標本用土質採取 ○ 総合考察 ○ 報告書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ○ サンプルング及び土質試験 <ul style="list-style-type: none"> ○ 物理的性質試験 ・ 力学的性質試験 ・ 化学的性質試験 ○ 原位置試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場透水試験 ○ 孔内水平載荷試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平板載荷試験
--	--

II. 一般共通事項

1. 函面及び「福山市地質調査委託特記仕様書」(以下「特記仕様書」という。)に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」(平成 27 年版)による。
2. 設計図書に定められた内容に疑義を生じたり、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督員と協議する。
3. 設計図書に定められた場合及び監督員の指示をうけた場合は、監督員の立会い及び検査を受ける。
4. 調査にあたっては、既存工作物等の保護等に留意し、汚損・破損等を及ぼした場合は、受注者の責任において速やかに復旧する。
5. 調査完了に際しては、仮設物、機器等の除去及び後片付け、清掃を行い、ボーリング孔を閉鎖し敷地を原形に復旧する。
6. 調査、試験の途中で、次の場合には速やかに監督員に報告し、その指示を受ける。
 - ・ 想定地盤と著しく異なったり、現場条件の特異性により掘削が困難な場合。
 - ・ 予定深度に達しても、数 m 以上にわたり想定支持地盤が確認できない場合。
 - ・ 予定深度に達していないが、数 m にわたり支持地盤が確認できた場合。
 - ・ 近接する地点での調査・試験で著しく結果が異なる場合。
 - ・ その他、この調査目的が達成できないと判断した場合。
7. 監督員の指示により、調査・試験の変更を行う場合がある。

III. 特記仕様

項目は、番号に○印のついたものを適用する

特記事項は、○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と⊗印のついた場合は、共に適用する。

(1) 一般事項

1) 作業計画書

- ※ 提出する
- ・ 提出しない

記載事項

- 調査内容(目的, 概要)
- 調査の順序及び方法
- 調査工程表
- 調査組織表(作業の班編成とその内容及び責任者)
- 使用機器の種類, 名称, 性能(一覧表)
- 仮設計画
- その他必要事項
- ⊗ あらかじめ工程表を作成し, 監督員の承諾を受ける。

2) 成果品

- ※ 成果品の所有権は, 発注者に属するものとし, 発注者の承諾を受けないで使用, 貸与, 又は公表してはならない。

3) 技術者

- ※ 地質調査技士(地質調査に関する知識及び技術の審査・証明事業認定規定(昭和 59 年 3 月 22 日付建設省告示第 654 号)に基づく資格を有するもの), 若しくは同等の能力と経験を有する技術者とする。

掘削位置

※ 図示

掘削本数，深さ，孔径は次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

• 動的円錐貫入試験

※ 鉄研式動的コーン貫入試験(大型)とする。

※ 鉄研式動的コーン貫入試験(大型)は，JISA1219(土の標準貫入試験方法)に準ずる。

掘削位置

※ 図示

掘削本数，深さ，孔径は次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	備考

(4) 物理的性質試験

• 土粒子密度試験

※ 試験方法等は，JISA1202(土粒子の密度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

・含水比試験

※ 試験方法等は、JISA1202(土粒子の密度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

○粒度試験

※ 試験方法等は、JISA1204(土の粒度試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別
No.1	1	砂・砂質土	4.5	
No.1	2	粘性土・シルト	10.5	
No.1	3	礫混じり土砂	21.0	

・湿潤密度試験

※ 試験方法等は、JISA1225(土の湿潤密度試験方法)による。

※ 湿潤密度は、乱さない試料を採取し測定する。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

・液性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の液性限界試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

・塑性限界試験

※ 試験方法等は、JISA1205(土の塑性限界試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(5)力学的性質試験

・一軸圧縮試験

※ 試験方法等は、JISA1216(土の一軸圧縮試験方法)による。

※ 試料は、1採取箇所につき3個以上の供試体について行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

・圧密試験

※ 試験方法等は、JISA1217(土の圧密試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

・三軸圧縮試験

※ 非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験

※ (社)地盤工学会基準 JGS T521(非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験方法)による。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(6)化学的性質試験 PH

・PH

※ 土のPHの測定を行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

(7)原位置試験

- 地下水位

※ 無水堀りにより，地下水位の測定を行なう。

掘削位置番号	サンプリング番号	想定土質	想定採取深さ(m)	サンプリング種別

- 現場透水試験

試験種別

- ※ 回復法

- 注水法

試験位置

- ※ 図示

試験本数，深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質

⊙孔内水平載荷試験

試験位置

- ※ 図示

試験本数，深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	想定土質
No.2	3.5	砂・砂質土
No.2	7.0	砂・砂質土

• 平板載荷試験

試験孔の平面形状寸法

※ 1.8m×1.8m

荷重サイクル法

※ 1 サイクル法

• 多サイクル法

※ (社)地盤工学会基準 JGS 1521(地盤の平板載荷試験方法)による。

試験位置

※ 図示

試験本数, 深さは次の表による。

掘削位置番号	深さ(m)	最大荷重(t)	想定土質

(8)総合考察

- ⊗ 調査, 測定結果に基づき総合的検討, 考察を行なう。
- ⊗ 調査地周辺の地形・土質の検討。
- ⊗ 各調査結果に基づく土質定数の設定。
- ⊗ 各調査結果に基づく地盤の工学的性質の検討。
- ⊗ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合)
- ⊗ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行なうものでなく, 基礎形式の適用に関する一般的な比較検討)
- ⊗ 設計・施工上の留意点に関する一般的検討
- ⊗ 転石, ズリ石, 玉石は, その岩質並びにその大きさを想定する。
- 液状化の検討
-
-
-

(9)報告書その他

1) 報告書

- ⊗ 提出図面及び報告書は、A4版に製本し提出する。
- ⊗ 提出部数は2部とする。
- ⊗ 中間報告は、ボーリング1孔完了毎に柱状図を提出する。

報告書の内容

- 調査の概要及び調査項目一覧表
- 調査位置附近見取り図、敷地内ボーリング位置図(標高・調査深度を記入)
- 現況周辺古地図
- 調査、測定結果に基づく総合的検討、考察
- 土質柱状断面図及び土性図
- 地質想定断面図(彩色)
- ・
- ・
- ・
- その他監督員の指示する資料

2) 記録写真

- ※ 調査地の状況、試験状況等を示す記録写真を提出する。
記録写真は、カラーサービス判程度とし、枚数は監督員の指示による。

3) 土質標本

- ※ 土質標本は、容器に密封し、調査孔毎に蓋付き箱に入れて、1組提出する。
- ※ 容器は、原則として直径4.5cm程度、高さ9cm程度のプラスチック製とする。
- ・
- ・

(10)地盤情報の取り扱いについて

※ 受注者は、地質・土質調査業務共通仕様書（広島県・令和元年 8 月）第 118 条 成果物の提出に基づき、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成 30 年 3 月）に基づき、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経费率算定の対象額としない。ただし、管理技術者が国土地盤情報センターで定める技術士等の資格又は、ボーリング責任者が地質調査技士の資格を持っていなければ設計変更の対象とする。

また、受注者は、電子納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDF ファイル）を、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成 30 年 3 月）に規定されている格納フォルダ BORING/OTHRs に格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告することとする。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-03.04.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
発注区分	当世代 41 建設コンサル	前世代	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y2B01 レベル1
直接調査費	1	式			Y2B0101 レベル2
機械ボーリング(市場単価)	1	式			Y2B010101 レベル3
土質ボーリング(ノンコア)	1	式			Y2B01010101 レベル4
	80	m			
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 6.6mm 砂・砂質土	27	m			SSE001 00 単第0 -0001 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 6.6mm 粘性土・シルト	9	m			SSE001 00 単第0 -0002 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 6.6mm 礫混じり土砂	44	m			SSE001 00 単第0 -0003 表
サウンディング及び原位置試験	1	式			Y2B010103 レベル3

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験					Y2B01010301レベル4
	80	回			
標準貫入試験 砂・砂質土					SSE007 00
	27	回			単第0 -0004 表
標準貫入試験 粘性土・シルト					SSE007 00
	9	回			単第0 -0005 表
標準貫入試験 礫混じり土砂					SSE007 00
	44	回			単第0 -0006 表
孔内水平載荷試験					Y2B01010302レベル4
	2	回			
プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験) 普通載荷(2.5MN/m2以下) GL-50m以内					SSE009 00
	2	回			単第0 -0007 表
室内土質試験					Y2B010110 レベル3
	1	式			
土の粒度試験					Y2B01011003レベル4
	3	試料			
室内土質試験 土の粒度試験(2),ふるい分析 試料0.5kg以下					TH003348 00
	3	試料			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査	1	式			Y2B010114 レベル3
解析等調査	1	式			Y2B01011401 レベル4
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費 土質ボーリング3本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSE052 00 単第0 -0008 表
直接経費	1	式			Y2B010117 レベル3
電子成果品作成費	1	式			Y2B01011701 レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00 単第0 -0009 表
国土地盤情報データベース検定費	1	式			Y2B01011704 レベル4
国土地盤情報データベース検定費 地質調査技師 地質調査技師	1	式			S2B01011501 00 単第0 -0010 表
** 直接調査費 **					

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間接調査費					Z0001
運搬費					YZZ0101 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ010101 レベル3
	1	式			
運搬費					YZZ01010101 レベル4
	1	式			
資機材運搬					SE301 00
	1	日			単第0 -0011 表
特装車運搬(クローラ) 総運搬距離 100m以下					SSE021 00
	1	t			単第0 -0012 表
準備費					YZZ0102 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ010201 レベル3
	1	式			
準備費					YZZ01020101 レベル4
	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など 準備及び跡片付け	数量	単位	単価	金額	備考
	1	業務			SSE039 00 単第0 -0013 表
調査孔閉塞	3	箇所			SSE045 00 単第0 -0014 表
仮設費	1	式			YZZ0103 レベル2
仮設費	1	式			YZZ010301 レベル3
足場設備	1	式			YZZ01030101 レベル4
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下	1	箇所			SSE031 00 単第0 -0015 表
施工管理費	1	式			YZZ0107 レベル2
施工管理費	1	式			YZZ010701 レベル3
施工管理費	1	式			YZZ01070101 レベル4

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
施工管理費(調査)					S2Z0107X2 00
	1	式			単第0 -0016 表
純調査費					
諸経費					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
業務価格					
消費税等相当額					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
地質調査業務費					

解析等調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査業務費					X4000
解析等調査					Y2D01 レベル1
直接調査費	1	式			Y2D0101 レベル2
解析等調査	1	式			Y2D010102 レベル3
解析等調査(機械ボーリング)	1	式			Y2D01010201 レベル4
資料整理とりまとめ(直接人件費) 土質ボーリング3本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSA052 00 単第0 -0017 表
** 直接調査費 **					
** 直接原価 **					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					

解析等調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 間接原価 **					
** 業務原価 **					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 業務価格 **					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 解析等調査業務費 **					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務費計					

施工単価表

資機材運搬

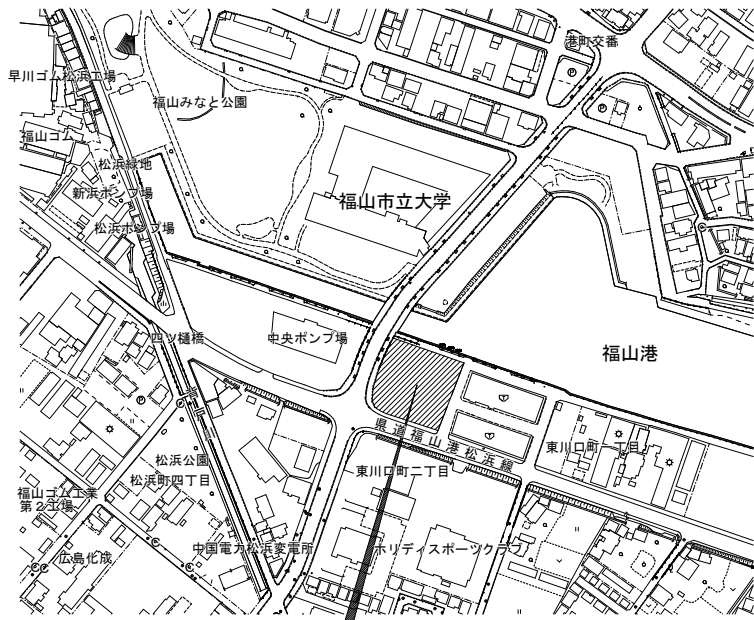
SE301

単第0 -0011 表

頁0 -0020

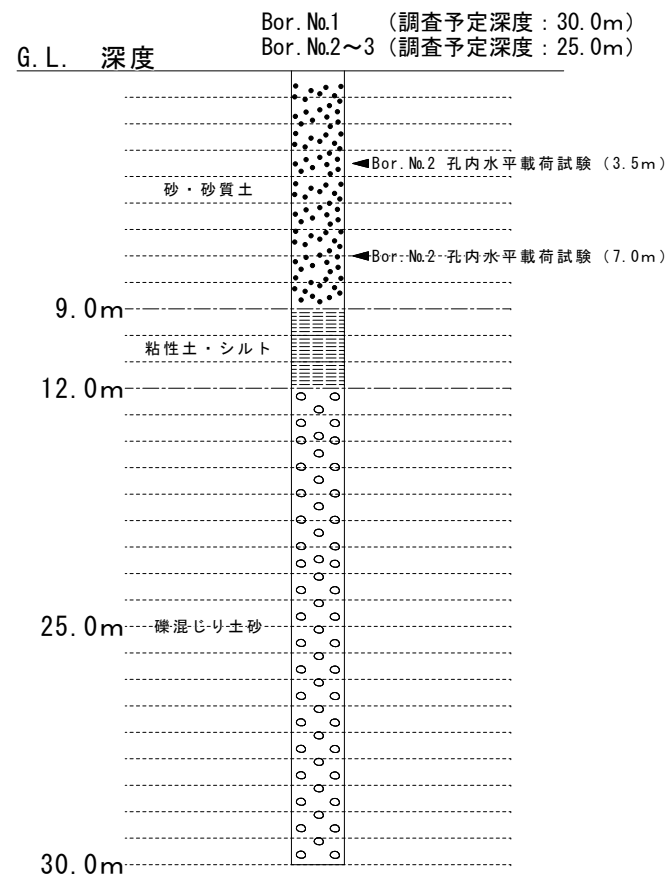
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.40	L			4.2*2
運転手(特殊)	0.34	人			0.17*2
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	2.00	時間			
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	1	日			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 片道所要時間 (h)			B=1	クレーン装置付 2 t 積 2 . 9 t 吊	

1 日 当り



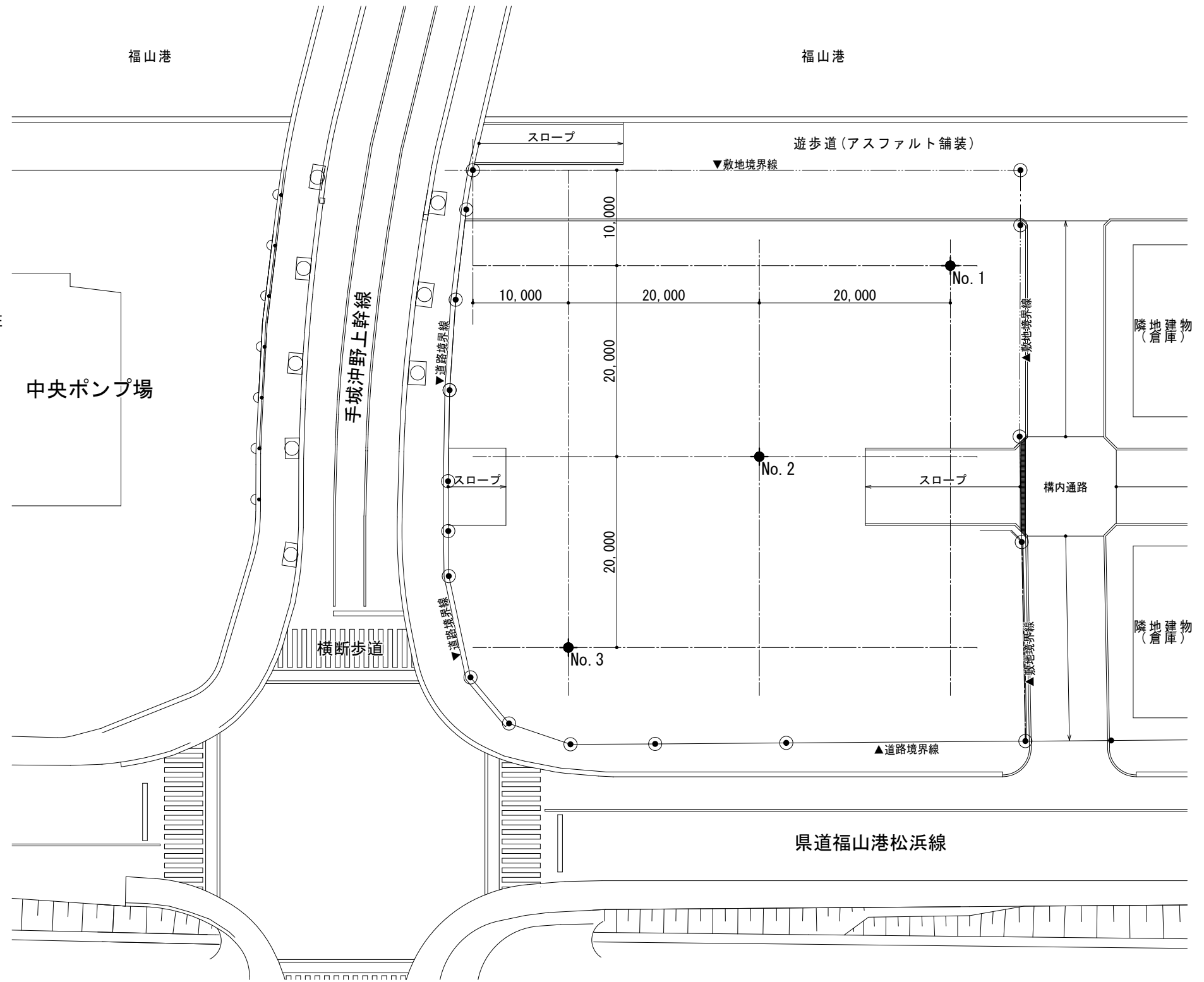
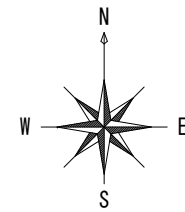
計画場所 (委託場所)
東川口町一丁目地内

付近見取図 S=1:6000



- ・ Bor. No.1~3において、Bor. No.1はGL-30.0mまで、Bor. No.2~3は25.0mまで、1.0m毎に標準貫入試験を行う。(計80回)
- ・ Bor. No.2においてGL-3.5mおよびGL-7.0mの深度で孔内水平載荷試験を行う。(計2回)
- ・ Bor. No.1~3のいずれかにおいて、砂の各層で粒度試験(ふるい分析)を行う。(計3試料)
- ・ ボーリング調査後、孔閉塞を行う。

推定柱状図 S=Nonscale



配置図 S=1:500

